



えどがわボランティアセンターだより



出会い

ふれ合い

助け合い

令和5年4月発行
第59号

【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス
電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

ここでも
ボランティア①

「出前ボランティア体験」が 通算千回を迎えました！



当センターと江戸川区福祉ボランティア団体協議会は、共催で「出前ボランティア体験」事業を実施しています。平成12年度から始まり、3月9日に実施した松江第三中学校で通算千回を迎えました。

この事業は、車いす利用者、視覚、聴覚に障がいがある方への理解と、誰もが住みやすい地域社会について考えるものです。会員である障がいのある方とボランティアがチームを組んで、小・中学校や高校、事業所を訪問します。

この22年間に小学校650校、中学校230校、高校・事業所120カ所を訪問し、のべ12万9,597人の方々が体験をしました。

今回は、19名のボランティアの指導で同校の三年生129人が「車いす」「ガイドヘルプ（視覚障がい）」「手話」の体験をしました。

ボランティアの山本國子さんは「千回をステップに今後二千回、更に三千回と続けて共生社会を築いていきたい。」と意気込みを語りました。

今後依頼があればどこでも出張しますので、ご希望の場合は当センターにご連絡ください。



ボランティア講師の皆さん



松江三中の大久保校長先生のあいさつ



手話体験



ガイドヘルプ（視覚障がい）体験



車いすでのお話

令和5年度ボランティアセンター事業紹介

今年度は、ボランティア養成講座の定員を拡大します。興味のある講座を受講して、ボランティアへの一歩を踏み出してみませんか！

【ボランティア講座】○傾聴ボランティア講座 ○手話ボランティア講座 ○音訳講座 ○日本語ボランティア講座

【夏のボランティア体験】夏休み期間中に、図書館や切手整理など、初心者でも気軽にできるボランティアを体験します。

【ボランティアフェスティバル】交流と情報発信の場として、11月25日（土）にタワーホール船堀で開催します。

【災害ボランティア】○災害ボランティア養成講座（入門・運営編） ○災害ボランティアセンター設置運営訓練

※詳しくは当センターのホームページや広報えどがわでお知らせします。

問合せ先 (公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671

外国人向け区生活情報ガイドブックをボランティアが活用

当センターには、10の日本語ボランティアサークルが登録しています。このたび江戸川区は、海外から転入する外国人向けに、「えどがわ生活情報ガイドブック」を発行しました。これには、日本特有のマナーや習慣、ごみの出し方や自転車のルールに加え、区内の観光スポットや伝統工芸などが掲載されています。各サークルは、これをテキストがわりに、外国人の方々に「やさしい日本語」を教えており、好評を得ています。

ガイドブックは区のホームページに、また、日本語ボランティアサークルは当センターのホームページに掲載されています。ぜひ、ご活用ください。



2種類のガイドブック
(やさしい日本語版・英語版)

三和商事株式会社と「災害時の一般ボランティア活動支援における人材派遣等に関する協定」を締結

当センターは、江戸川区が大地震などで被災した時に、社会福祉協議会とともに「江戸川区災害ボランティアセンター」を立ち上げます。

令和4年12月22日、災害時の一般ボランティア活動支援における人材派遣協定を災害・防犯などを手がける三和商事株式会社と江戸川区、社会福祉協議会、当センターの四者で締結しました。

これにより、発災時には三和商事(株)から社員の派遣を受け、災害ボランティアセンターを運営することとなり、迅速かつ効果的な災害救助活動が図られることになります。



三和商事(株)と江戸川区等が協定書の取り交わしを
(左から)大西さん・斉藤区長・小林代表・鈴木さん

災害ボランティア入門講座を開催

当センターは、3月4日にグリーンパレスで、国内外の災害時で実績のある「ピースポート災害支援センター」から講師を招き、入門講座を開催しました。これには、災害ボランティアの登録者、三和商事(株)、JCOM東京江戸川局、社会福祉協議会、当センターから総勢40人が参加しました。

講師から阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、最近の水害で、ボランティアとして従事した体験も交え、初めにやること、安全と健康の確保、終わって帰る時までの流れを説明しました。

この講座をもとに、令和5年度は、災害ボランティア設置運営訓練を実施する予定です。



講義の様子



みんなで討論

～江戸川区の子どもを江戸川区で育てるために～

あなたの力を貸してください!

里親制度と里親家庭支援について 出前講座を実施しています。

虐待や親の病気など、様々な事情により親元を離れて暮らす子どもたちが江戸川区におよそ300名います。こうした子どもたちを一定期間、家庭で預かり育てる仕組みが「里親制度」ですが、里親の数は不足しているのが現状です。

「里親と養子って何が違うの?」「里親になってみたいけれど、何から始めればいいのか?」「里親になるのはハードルが高いけど、何かできることない?」などの疑問にお答えする出前講座を実施しています。各種勉強会や研修会等へ是非ご参加ください(無料)。困難に陥った子どもを地域みんなで育てていくため、皆さんの力をお貸しください!



※少人数・オンラインでも実施しています。
是非お気軽にご相談ください。

【実施主体・問合せ先】

■江戸川区里親ステーションふおれすと

江戸川区児童相談所と「フォスタリング機関」が協働し、里親制度の普及啓発活動から登録に関する手続き、里親向けの研修、訪問支援などを行う。
TEL:03-5678-1810(月～金・8:30～17:00、江戸川区児童相談所はあとポート 里親担当)

■NPO法人バディチーム

江戸川区の里親家庭むけ育児家事援助「さとおや・おたすけ事業」を受託実施。
その他、さまざまな困難や背景を抱えた家庭に対する訪問型支援を行う。
TEL:03-6457-5525 MAIL:honbu@buddy-team.com

ボランティアさん募集情報

プレザンメゾン葛西 (介護付有料老人ホーム)

内 容 … 演奏・歌・舞踊・手品等リクリエーションを
入所者へ披露する
日 時 … 随時(曜日、時間等は相談の上決定します)
住 所 … 東葛西3-8-2
東京メトロ・東西線「葛西駅」徒歩15分
都営バス・葛西22系統一之江駅前行き
「東葛西3丁目」徒歩3分
交通費 … 実費支給
電 話 … 03-5679-6721
担 当 … 中村、平岡

ご存じですか? このマーク

グリーンマークは、古紙が原料の製品であることを示すマークです。
(公財)古紙再生促進センターが1981年に制定しました。古紙利用製品の使用拡大を通じて、古紙の回収・利用促進を図るためです。この表示ができるのは、原則古紙を40%以上利用した製品です。ただし、トイレトペーパーは100%、新聞用紙は50%以上利用したものになります。



グリーン マーク

ありがとう

1月・2月分

使用済み切手 受領:51件/9.7Kg

ボランティアの振興に、有効に使わせていただきます

ボランティア団体登録数

登録団体数:178団体
登録人数:4,627人
(令和5年2月末現在)

ここでも
ボランティア②

動物との共生をテーマにボランティアで活躍!

かなだ きょうこ
金田京子さんにインタビュー

南葛西にお住いの金田京子さんは、30年以上動物と一緒にいるボランティア活動を続けています。金田さんの活動についてお話を伺いました。

○動物との出会い

1986年にJAHA(日本動物病院協会)とCAPP活動※(人と動物のふれあい活動)に出会ったことがきっかけでした。以後、動物と一緒にいるボランティア活動に興味を持ちました。

○動物にかかわるボランティア活動

「ラブリーの会」の代表を26年務め、様々な施設に出向いてボランティア活動を行うかたわら、小学校では道徳の公開授業の講師として犬とともに動物愛護について講演をしています。

そのほか、「東京都動物愛護推進委員」や保護司としてボランティア活動も行ってきました。

開催されたIAHAIO※(人と動物の関係に関する国際団体)大会に出席したことは、その後の人脈形成とボランティア活動に繋がっています。

○防災ボランティアとして

所属する「NPO法人手をとりあってつなぐ命」では、会員とともに町会・自治会と防災・災害訓練を実施しています。

最近は被災した時避難所で動物をどうするかや、動物が人間に及ぼす影響などに関心をもっています。

○今後の抱負

「人間にとって動物を困った生き物にしないこと、特別扱いしないで動物と共生していくことが重要です。今後もこの気持ちを大切にボランティア活動をしていきたい。」と話してくれました。

※印の注釈と詳しいインタビューの内容は、当センターホームページに掲載していますので、ご覧ください。



金田京子さん
(ボランティアセンターにて)



犬とともに小学校で講演した金田さん(左)



海外の会議に出席した金田さん(前列右端)



ラブリーの会のメンバーと
ボランティアの学生と一緒に



江東区ケアセンター「つばき」
での犬とのボランティア活動



環境大臣賞を受賞した金田さん(中央)

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター ☎ 03(5662)7671